

## 第1回常務委員会（5月22日開催）における議論の状況と今後の対応

## 1 開催概要

## ■議題 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画改定骨子案について

## ○スケジュールと検討体制について（資料2-1、2-2参照）

- ・2年間のスケジュール（令和5年度に素案、令和6年度末に改定）
- ・市民、有識者、庁内の意見反映に向けた検討体制

## ○改定骨子案について（資料2-3参照）

- ・共通事項
  - ・前回審議会（令和5年1月26日開催）にて提示した「改定の方向性」の要旨
- ・都市計画マスタープラン
  - ・改定のポイント、全体像、各章の改定の方向
- ・立地適正化計画
  - ・防災指針の検討状況

## 2 主な意見（会議録参照）

## 都市計画マスタープラン（改定骨子案）

## ■1章 市民と共に目指すまちの姿（資料2-3 P12-13）

## ○長谷川路子委員（経済・追手門学院大学）

- ・「市民と共に目指すまちの姿」に発展させるとのことだが、市民と「考える」から「目指す」だとあまり発展していない印象を受ける。「市民と共に創るまちの姿」などにしてはどうか。
- ・1章の具体化と2章との関連性を明確にしたほうが読み手にもわかりやすい。
- ・強みの記載はあるが、弱みや課題はどのように捉えているか。

## ○松本専門委員（地域づくり・大阪大学）

- ・都市づくり戦略の前提となる、目指すべき土地利用の考え方を明確に記載したほうがよい。やまとまちを活かす前提となるものであり、やまの資源を守る、整える視点も重要である。

## ■2章 全体構想 都市づくり戦略・都市構造（資料2-3 P13-19）

## ○岡井委員（都市計画・立命館大学）

- ・戦略①について、今後の人口動態を考えると、減少するのは間違いなく、やま（北部地域）とまち（中心部）の範囲や人口密度などを踏まえ、土地利用の方向性を考える必要がある。

## ○加我専門委員（みどり・大阪公立大学）

- ・戦略①について、都市部の暮らしを考える上で、やまのもつ自然資源は非常に重要であり、評価できるものである。現行計画に記載のある「里地・里山の保全」を前提に「やま」らしさを活かす取組を期待する。
- ・戦略②の「景色」を創ることについて、単なる賑わいだけの一過性の活動とならないよう「景色」として市民に認識してもらえよう場になれば良いと思う。公園については、公園らしくありながら、新たな魅力を最大化するような形で公民連携に取り組んでほしい。

## ○栗尾委員（商工業・商工会議所）

- ・彩都について、企業立地が進んでおり、今後も開発が進むことも記載したほうがよい。

## ○澤木会長（都市計画・大阪大学）

- ・戦略③について、都市拠点を中心に歩いて暮らせる環境整備など、現在進めているウォーカブル関係の取組もわかりやすく整理できるとよい。

## ○石原専門委員（防災・龍谷大学）

- ・全体の方向性はおおむね良い。都市構造の更新について、隣接市との整合を図ることが望ましい。

## 立地適正化計画（改定骨子案）

## ■防災指針の検討状況（資料2-3 P20-29）

## ○岡井委員（都市計画・立命館大学）

- ・居住誘導区域は、居住を推奨する区域であり、将来的にインフラ等が維持される区域であるといった観点から災害リスクの高い区域は誘導区域から除外することが原則である。既成市街地等でもやむを得ない場合はリスクの低減策などと合わせて検討すべき。

## ○石原専門委員（防災・龍谷大学）

- ・計画規模（1/100）で浸水深3m以上の区域について、世帯数や人口はどの程度か。避難施設や避難経路、周知方策、高齢者の居住状況などの情報を踏まえ、判断すべき。
- ・災害リスクが高い区域は居住誘導区域からの除外が原則と考えるが、例えば、一旦区域から除外した上で、リスク低減策が実施されたら、区域に含めるといった考え方もある。

## ○加我委員（みどり・大阪公立大学）

- ・工業地域は住宅の立地が許容されるが、工業系用途による土地利用が基本であることを前提に居住誘導区域の設定のあり方を検討するという視点もある。
- ・想定最大規模（1/1000）で浸水深5m以上の区域にある農地について、生産緑地か。生産緑地は土地利用が変わる可能性もあるので、区域から除外する理由を検討されたい。

## ○藤本委員（公募市民）

- ・安威川ダムについて、計画規模を上回る100mm/hの降雨も起こりうるなかで、機能として問題ないか。最近の大雨では、緊急放流があったとの報道もあり、見解を確認したい。

## 3 今後の対応

## ■第1回常務委員会における意見、本日審議会における意見を踏まえ、次回常務委員会（10月頃予定）に向け、改定作業を進める。

## 都市計画マスタープラン

|  |                                       |                                    |
|--|---------------------------------------|------------------------------------|
| 序章 改定について<br>背景、位置づけ                   | ○人口動態の確認                              | } <b>意見</b> を踏まえて<br><b>素案</b> の提示 |
| 1章 市民と共に目指す<br>まちの姿                    | ○記載の具体化<br>○目指すべき土地利用の整理              |                                    |
| 2章 全体構想<br>都市づくり戦略<br>都市構造<br>都市づくりプラン | ○1章との関連性の明確化<br>○弱み・課題の整理<br>○隣接市との整合 |                                    |
| 3章 地域別構想                               |                                       | } <b>骨子案</b> の提示                   |
| 4章 都市づくりと<br>まちづくりの進め方                 |                                       |                                    |

## 立地適正化計画

|                             |                            |  |
|-----------------------------|----------------------------|--|
| 防災指針                        | ○浸水リスクの高いエリアの<br>防災関係の詳細内容 | } <b>意見</b> を踏まえて<br><b>方針</b> ・ <b>取組</b> の提示 |
| 居住誘導区域設定の考え方<br>都市機能誘導施設・施策 | ○災害リスクへの対応反映               |  |